

事業番号	115
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地域福祉推進事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型		担当課	福祉総務課			
	事業期間	平成25年度			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		10 地域福祉		2 地域福祉活動を普及・拡大するための仕組みを整えます				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	1	目	1	大	6	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市地域福祉計画・地域福祉活動計画									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	地域住民が支えあって共に生きるという共通認識の中で「新しい地域福祉モデル」の仕組みを築き、すべての住民が地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 7地区16小学校区でグループ分けをし、地域座談会を開催した。 先進地の取り組み事例を学んだ後、各地域に必要な福祉活動について、153名参加のもと、議論した。 この座談会を通じ、地域内のネットワークの必要性について、意識の醸成を図るとともに、具体的な福祉課題の解決につなげる仕組みづくりに向け、支援を行った。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 講師謝礼 140,000円 食料費 21,600円</p> <p>◆26年度の直接経費の内訳 講師謝礼 200,000円 委員謝礼 116,000円 食料費 50,000円 筆耕翻訳料 616,000円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円			162	982	
		正職員	従事者数	人			0.01	0.01
			人件費	千円	0	0	52	52
		その他職員	従事者数	人			0.00	0.00
			人件費	千円			0	0
	費用合計	千円	0	0	214	1,034		
対前年比	%		#DIV/0!	#DIV/0!	483.1			
財源	一般財源	千円	0	0	214	1,034		
	国・県支出金	千円			0	0		
	その他財源	千円			0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	地域座談会の開催	回	目標		—	—	7
実績				—	—	7	
モデル地区指定に向けての地域座談会の開催	回	目標		—	—	—	3
		実績		—	—	—	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			地域座談会の開催	回	目標	—	—
モデル地区指定に向けての地域座談会の開催	回	目標		—	—	—	3
		実績		—	—	—	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	市内7箇所において16小学校区をグループ分けした地域座談会を開催し、見守り・支え合いの必要性について意識の共有を図った。	
	事業実施における課題	小学校区を単位としたネットワークを設置するなかで、学区から区への情報提供や区から学区全体で活動を展開するために、情報を共有する場を構築しなければならない。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	地域住民の福祉意識が低迷し、地域福祉活動の停滞、地域の福祉力の低下につながるおそれがある。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 福祉のネットワーク(地域福祉推進基礎組織)の構築については、地域協議会の設立に併せて支援する必要があるため、地域協議会の設立動向を注視し、設立の目処のたった校区を対象に座談会を開催する。 一方で、地域福祉活動については、小地域(区)を基本とすることから、地域福祉活動の充実に向け、支援を強化する。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	誰もが、安心して暮らせるまちづくりを推進するためには、住民の福祉意識の高揚、地域福祉活動の基礎組織の構築が不可欠であると考えたため。	
	27年度以降の改善案	地域福祉計画の進捗状況を検証した上で、次期計画を策定できるようにしなければならない。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。